

経営比較分析表（令和元年度決算）

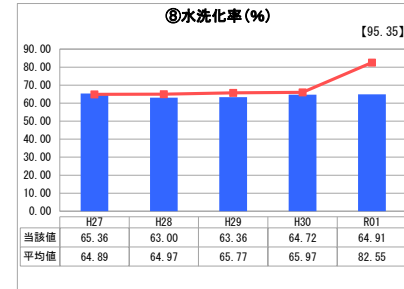
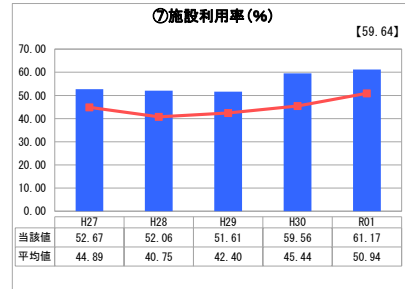
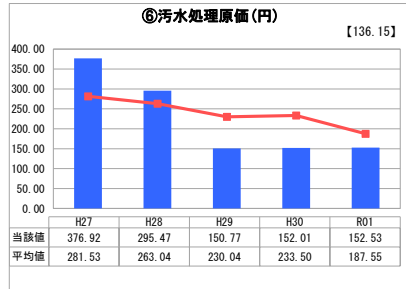
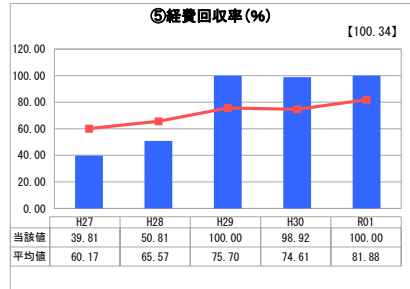
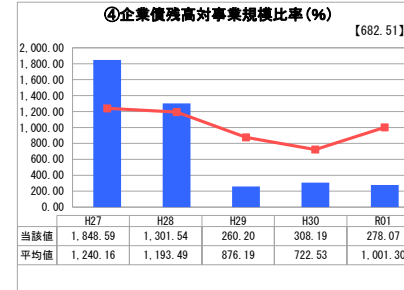
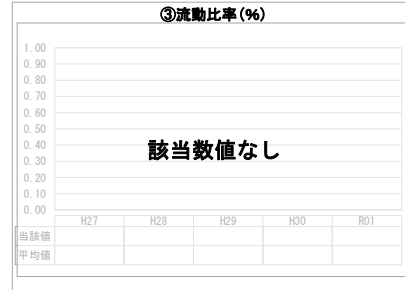
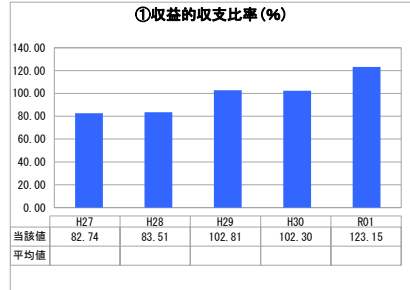
長崎県 南島原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	10.41	74.43	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,262	170.11	266.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,674	1.79	2,611.17

■ 当該団体の値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
【 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営状況は「①収益の収支比率」及び「⑤経費回収率」について、100%を超え、改善傾向であるものの、収益の大半を一般会計からの繰入金に依存している状況である。

「④企業債残高対事業規模比率」、「⑤経費回収率」、「⑥汚水処理原価」及び「⑦施設利用率」について、類似団体と比較しても優位であり、経年比較でも改善傾向である。

「⑦施設利用率」及び「⑧水洗化率」については、R1年度に面整備が終了し、今後の大幅な水洗便所設置者の増加も見込めないため、しばらくは横ばいで推移するものと思われる。

面整備をR1年度に終え、今後大幅な処理区域内人口の増加が見込めないなか、いかにして処理区域内の接続促進を図り、水洗化率を向上させるかが課題である。

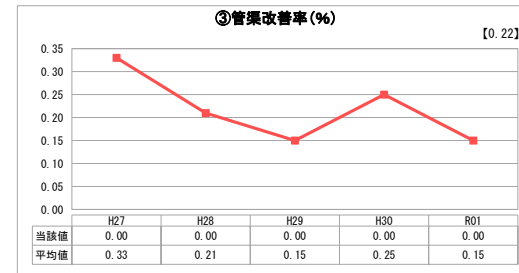
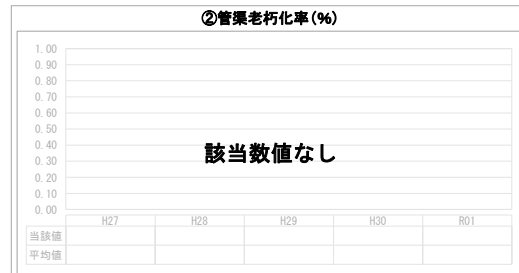
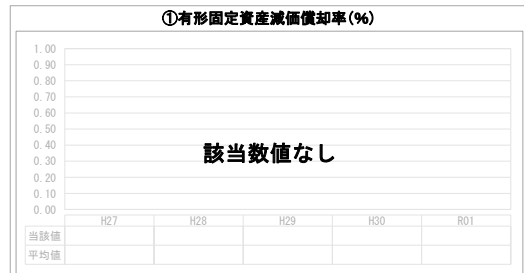
また、「①収益の収支比率」、「⑤経費回収率」及び「⑥汚水処理原価」がH29年度から大幅に改善した要因は、一部返済による地方債償還金の減少など、汚水処理に要する資本費が減少したためである。

2. 老朽化の状況について

H16年度に供用開始し、供用開始後15年が経過しており、処理場や管渠等の耐用年数は経過していないが、電気設備等については、耐用年数を迎える時期となっている。

今後、すべての下水道施設を対象とした、ストックマネジメント計画を策定し、適切な維持管理及び計画的な改修を図っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

面整備をR1年度に終え、今後は下水道施設の維持管理、更新を検討する段階となっていく。

ストックマネジメント計画を策定し、施設の計画的な修繕、効率的な改築等を今後検討していく予定としている。

また、本市が抱えている高齢化率の増加、人口減少等により、料金収入の減少が見込まれるなか、施設の適正な維持管理や、統廃合なども視野に入れた効率的な事業運営を行い、経営の継続に努めなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。